

## 「インターネットによる人権侵害について」

近年情報化社会の進展に伴い、インターネットが広く普及しています。インターネットは情報収集、コミュニケーションの場等として非常に便利と言えますが、その一方で、インターネットを使った悪質な人権侵害が起こっています。

インターネット上では、自分の名前や顔を簡単には知られることなく発言することができます。そのため、その匿名性を悪用し、正確な情報に基づいて個人情報を書き込みがされたり、誤った情報に基づいて全く関係のない

人々を誹謗中傷する書き込みがされたりしています。そのような情報がインターネットを通じて不特定多数の人々の目にさらされ、情報を書き込まれた人の尊厳を傷つけ、社会的評価を低下させてしまうなど、被害の回復が困難な重大な損害を与える危険があります。

またインターネットでは、いったん情報が発信されるとその内容がすぐに広まってしまい、データをコピーされたり、別の場所に転載されたりと完全に削除することは非常に難しいので

す。

インターネット上での人権侵害を防ぐには、直接人と接する時と同じようにルール、モラルを守り、相手の人権を尊重することが重要視されます。心ない書き込みをしてしまうと誰かが傷ついているかもしれません。相手の顔は見えなくても、インターネットでつながった先にいるのは、同じ人間であるということをお忘れないう心がけねばなりません。

東秩父村総務課長

柴原 正

## ☆いきいき男女☆

### 応援プロジェクト!

大字安戸在住  
お名前  
吉野 愛実さん  
(年齢 27歳)



#### 【あなたの日常は?】

毎日、子ども3人の育児、家事、仕事とバタバタで1日があっというまです! 日曜、祝日など、たまに仕事な時は、旦那や、おじいちゃんおばあちゃんに協力してもらっています!

#### 【今後の男女共同参画社会に望むことは?】

育児休業を充実させるなど、男女が共に働きやすい環境を望みます。

#### \*役場男女共同参画担当から一言

家族の協力があると、休日でも安心して働くことができますね。忙しい毎日でしょうが、がんばるお母さんは、お子さん達にとって自慢のお母さんでしょう。

育児休業法が改正され、保育所に入れない等の場合、育児休業期間を最長2歳まで延長できるようになりました。この他にも様々な制度がありますので、多くの方が制度を活用し、自分に合った働き方を見つけられるよう、今後ご紹介していきたいと思ひます。

## 東秩父を全力応援!

## 地域おこし協力隊通信



大東文化大学の学生たちによるふるさと支援隊では、12月17日にゆずまき作り、1月14日に削り花を学びました。

ふるさと支援隊とは、大学生の新たな視点を活かして中山間地域をサポートする、埼玉県の事業で、東秩父村では今年度から始まりました。ゆずまき作りでは、鈴木久恵さんと磯田瑞子さんに作る工程を最初からさせていただき、注意点や長く保存させるコツ、どのような時に食べていたかなどを教えていただきました。削り花の体験では、磯田博安さん宅へ見学に行き、家でどのように飾られているか、使う木や道具、歴史について

お話を伺いました。また、小正月に食べるあずきがゆもみんなでごちそうになりました。午後は倉林均さん、関根高義さんに教わりながら自分たちで削る体験をさせていただきました。留学生にとっては日本の文化や暮らし全てが新鮮で、長く受け継がれていることに感動していました。来年度はそれぞれが体験を通して感じたことを活かして、地域の方と一緒に交流の機会作りを目指したいと思ひます。

